

実は浜松の「普通」もスゴかった。

浜松のポテンシャル(潜在能力)は、例えばこんなところ。城の石垣のように、住む人、来る人の支えになって、出世、開運、幸運につなげているのでしょう。

浜松まつり



一説には引馬城時代を起源とするともいわれる凧揚げの風習を市民の手によって現在の大きな祭りに育てた。神社仏閣の祭礼とは関係のない市民参加型の祭り。2013年は凧揚げに173カ町、御殿屋台に過去最多の86カ町が参加。市民の結束が固い理由がここにある。

内陸の港

日本における海外貿易は海上コンテナ船が主流だが、グローバル企業が集まる浜松には貿易港がない。そこで、浜松で生産した製品をスピーディーにコンテナ積みしたり、通関業務を円滑に行ったりできるよう1971(昭和46)年に日本で初めて税関施設を併せ持った内陸コンテナ基地が東名浜松インター近くに設置された。陸の国際貿易港なのだ。



恵まれた自然環境

浜松市は、一日当たりの日照時間[※]が6時間18分30秒と日本一。明るく輝く環境が街の運気を上げているのかも。

[※]日照時間:直射日光が実際地上を照らす日射量が120w/m以上の時間/大都市比較統計年表(平成22年)

伝統の30分間回泳

浜松の小学生は5年生になると、みんなで「30分間泳ぐ」という目標にチャレンジする。浜松市の独自の取り組みで、平成25年で48回を数える。足をつかずに30分泳ぎ続けることができれば合格。海、川、湖に囲まれた浜松ならではの安全対策だという。



[写真提供 NPO法人 はままつ子育てネットワーク びっぴ]

医療体制の充実

浜松市の病院数は静岡市の28を上回り、39で静岡県内トップ。医師の数2,001人と、こちらも県内一番。

[静岡県統計年鑑(平成23年)]

浜松はこんなにスゴいのじゃー!

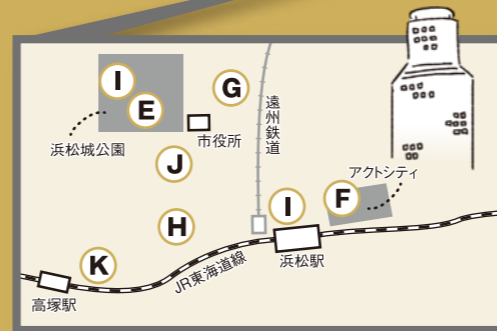


「出世の街」の証明。

なぜ、浜松が出世の街と言われるのでしょうか。その答えは街のあちこちにあるのです。出かけてみましょう、感じましょう。出世の街を再発見。

浜松のパワースポットガイド

チャンスは待っていてもやって来ない。それなら、訪ねてみよう。まずは、身近なパワースポットを。そこで何かを感じたならば、開運・幸運の第一歩。



B ものづくりのパワースポット

本田宗一郎 ものづくり伝承館



世界のホンダを築いた本田宗一郎氏の足跡と、ものづくりへの哲学を伝えるため、彼の出身地に作られた施設。遺品や写真、当時のオートバイ、エンジンが宗一郎の執念ともいえるものづくりパワーを放つ。(天竜区二俣町二俣)

A 山のパワースポット

山住神社



徳川家康公が戦勝祈願をしたというお犬様信仰の神社。家康公が三方ヶ原の戦いで苦戦しているとき、犬たちが一斉に吠えて敵を散らせて家康公を守ったと伝えられる。その家康公もパワーをもらったであろう境内の樹齢およそ1300年の二本の巨大杉は、静岡県指定天然記念物。(天竜区水窪町山住)

D 開拓のパワースポット

三方原



三方ヶ原の戦いとなった舞台に第二次世界大戦後、600余名が入植したが、荒れ果てた強酸性土壌で畑にはならないといわれていた。道路も水もない状態から血と汗で拓き、市内有数の農業生産地に変えた。(北区三方原町)

C 芸術のパワースポット

秋野不矩美術館



靴を脱いで入館するのは「不矩さんの汚れ無き絵に土足は似合わない」という館の設計者藤森氏の思いから。インドを描いた作品からは現地の息づかいまでもが伝わってくる。心洗われる神聖な空間。(天竜区二俣町二俣)

E 出世のパワースポット

浜松城



徳川家康公が17年城主を勤めた後も25代の城主が誕生し、幕府の要職に就いた者も多く「出世城」と異名をとる。天保の改革を行った水野忠邦も、いわれにあやかり進んで城主になったといわれる。現在、天守門の復元工事や公園の整備が進み、パワーを増している。(中区元城町)

I 復興のパワースポット

プラタナスの木

鍛冶町通りにあった46本のプラタナスの木。戦時中、空襲によって市街地の大半が焦土と化す中で、3本のプラタナスの木が奇跡的に生き残った。戦後は3カ所に移植。幹にこげ跡を残しながらも、復興のシンボルとして市民に希望を与え続けている。

- ・JR浜松駅北口西側
- ・浜松城公園
- ・みどり〜な(緑化推進センター/南区)



K 産業のパワースポット

スズキ歴史館



スズキ(株)の製品・歴史に加え、浜松・遠州の産業の足跡も展示・紹介している。過去から現在、未来へと続くストーリーに社会科見学に訪れる小学生の目も輝く。(南区増楽町)

J 知のパワースポット

中央図書館 2階郷土資料室



浜松の歴史、文化、産業、人物など郷土浜松に関する5万冊を所蔵する「浜松大百科辞典」、知のエネルギー源。調べ物相談には担当職員が対応してくれる。(中区松城町)

H クリエーターのパワースポット

木下恵介記念館



日本映画の黄金期を築いた浜松生まれの天才映画監督木下恵介とその作品を展示・紹介。館の建物は浜松出身の名建築家、中村興資平(よしへい)の設計。浜松大空襲の戦災にも耐えた浜松市指定有形文化財「旧浜松銀行協会」。創造の力がダブルでみなぎる空間。(中区栄町)

G 出世のパワースポット

浜松元城町東照宮



浜松城の前身で、家康公が入城した引馬城。その跡地に家康公を祀る神社である。また、かの豊臣秀吉が少年時代に初めて奉公した先は浜松の松下家で、引馬城を訪れたという記録が残る。東照宮は、秀吉が出世の一步を踏み出した場所でもあり、大武将二人の接点となる「史上最強の霊地」と最近紹介[※]され、話題となっている。(中区元城町)

[※]平成25年1月30日 読売新聞「古今をこち」磯田道史氏(静岡文化芸術大学准教授)、平成25年8月17日静岡新聞

F 音楽のパワースポット

ショパンの丘



アクトシティ中ホール屋上につくられた屋上公園。ワルシャワ市から贈られたシンボルのショパン像は、世界で初めてポーランド国外に輸出されたもの。何かを語りかけるショパン。幾人のピアニストがコンペティションやコンサートの成功を願ってこの像に祈ったことだろう。(中区板屋町)